

令和5年度 樹木と緑化の総合技術講座

開催日：前期講座 令和5年6月1日(木)～7月17日(月)
WEB（ビデオ）配信（期間中繰り返し視聴可能）

後期講座 令和5年9月4日(月)～7日(木)
ホテルマークワンつくば研究学園リベラホール
有限会社 古平園 圃場
国立科学博物館 筑波実験植物園
つくば市 研究学園駅前公園

主 催 一般財団法人 日本緑化センター

後 援 公益社団法人 日本造園学会

(予定) 樹木医学会

一般社団法人 日本植木協会

一般社団法人 日本樹木医会

一般社団法人 日本造園組合連合会

一般社団法人 日本造園建設業協会

一般財団法人 日本造園修景協会

一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会

この講座は造園 CPD・樹木医 CPD の認定プログラムに申請中です。
講座内容は当センターホームページをご覧ください。
http://www.jpgreen.or.jp/event/jyumoku_ryokka/index.html

令和5年度 樹木と緑化の総合技術講座のご案内

近年、社会環境が激しく変動する中で、求められる森林・緑地の役割も、地球環境保全や生物多様性保全などグローバルな視点で取り組むべきものから、地域環境の保全や生活空間の改善、防災力の強化、景観アメニティの向上など身近な視点で考えるレベルのものまで非常に多様化しています。

このような変化に迅速に対応していくためには、樹木に関わる科学的知識と緑化に関する最新の知見に裏打ちされた総合的な企画力と実践力が求められています。本講座は樹木の生態から緑化技術、維持管理技術など樹木と緑化に関わる基礎知識などを修得するとともに、樹木の生態・構造、維持管理の必要性を理解し、現場での様々な課題を解決するための手法をトータル的に学ぶことを主眼としています。

このため、緑化行政担当者には緑化事業の適正な管理・運営の基礎を理解する機会に、緑化専門技術者には専門技術の基礎を見直す機会に、緑に関心を持つ一般の方にも分かり易く学べる機会になるようなカリキュラムとしておりますので、社員・職員研修あるいは自己研鑽の場等として活用していただきますよう、参加のご案内を申し上げます。

1. 開催日時・場所

本講座は前期と後期に分けて開催いたします。

(1) 前期講座

- 1) 配信期間：令和5年6月1日(木)～7月17日(月)
- 2) 場所：WEB 配信 (ライブ配信ではありません。ご都合のよい時間帯で繰り返し視聴可能です)

(2) 後期講座

- 1) 期間：令和5年9月4日(月)～9月7日(木)
- 2) 場所：ホテルマークワンつくば研究学園 リベラホール
(〒305-0817 茨城県つくば市研究学園 5-13-5 TEL. 029-875-7272)
(有)古平園 (〒300-3262 茨城県つくば市蓮沼 10)
国立科学博物館 筑波実験植物園 (〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1)
つくば市研究学園駅前公園 (〒305-0818 茨城県つくば市学園南 2-1)

2. 講座スケジュール

令和5年度樹木と緑化の総合技術講座スケジュール及び講座概要 (P4～6) のとおりです。

3. 受講料(税込)《前期》11,000円/日、《後期》16,000円/日、8日間(以上)受講・1割引

- ※ 受講料は原則として前払いです。
- ※ テキスト代を含みます。
- ※ 宿泊費・交通費は含みません。
- ※ 受講は1日単位(前期は1コースを1日とします)です。科目単位での受講はできません。
- ※ 同一会社内複数同時のお申し込みで合計8日間以上の参加については1割引となります。(賛助会員割引との併用はできません。)
- ※ 日本緑化センター賛助会員の受講料は上記受講料の2割引です。貴社にて日本緑化センター賛助会員についてご確認を行った上で、賛助会員の方は受講申込書に法人名を記入してください。(8日以上参加割引との併用はできません。)
- ※ 後期昼食代金は受講料に含まれます。ただし、昼食を希望しない場合の返金はいたしません。
- ※ 後期については新型コロナウイルス感染状況に応じて「中止」となる可能性があります。やむを得ず「中止」となった場合は後期分を全額返金させていただきます。

4. 自然再生技術研修会 (<http://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/p07.html#houhou2>)

この講座は「自然再生士登録更新対象講座として位置付けています。前期4コースのうちいずれか2コース以上を受講すると、自然再生士登録更新要件となります。

対象者は自然再生士8期1979番～10期2384番、有効期限2026年3月31日までの自然再生士(失効者を含む)です。自然再生士更新対象の皆様へ「令和5年度自然再生技術研修会 修了証」を発行しますので、受講申込書に自然再生士登録番号をご記入ください。更新時期については修了証・備考欄をご覧ください。自然再生士登録更新には別途申請手続きが必要です。

5. 緑サポーター養成研修 (<http://www.jpgreen.or.jp/supporter/index.html>)

この講座は「緑サポーター養成研修」として位置づけています。本講座を6日以上受講し、規定の登録申請書の提出および登録料を納付すると“緑サポーター”として登録します。“緑サポーター”とは、樹木医の指導の下で緑の保全に関する相談、指導等の補助的な活動を行う者です。平成11年から開始され、令和5年3月1日現在1,481名（登録者）が緑サポーターとして登録され、そのうち25名が樹木医となり活躍しています。“緑サポーター”に登録後、樹木医の指導の下で年間30日間活動を行うと樹木医研修受講者選抜試験の一年分の実務経験となります。緑化関係以外の職業の方も樹木医試験にチャレンジし樹木医になる道が開けます。ただし、日本緑化センターは（一社）日本樹木医会との取り決めにより樹木医を紹介することはできません。ご指導いただく樹木医はご自身でお探しいただきます。

6. 定員 《前期》定員なし、《後期》30名/日

7. 宿泊 《後期》講座に参加される方は、各自、最寄りのホテル等をご利用下さい。

8. 参加申込み

参加ご希望の方は「受講申込書」に所定の事項をご記入の上、《前期》令和5年7月7日（金）まで、《後期》令和5年8月21日（月）までに、FAX または郵便またはメールにてお申し込み下さい。後期につきましては定員になり次第締め切ります。

9. 前期講座テキストおよび URL の送付について

受講料の入金確認後、令和5年5月26日（金）以降にテキストをご指定のご住所へレターパックライトで郵送、配信 URL をメール送信します。（送付先の住所及びメールアドレスは、間違いが無いように、わかりやすい文字で、大きく丁寧をお願いします。）

10. 後期講座における感染症対策の基本方針

新型コロナウイルス感染症の対応につきましては、段階的にガイドライン等が示されてきたところですが、後期講座開催時において、現時点では定かではありません。今年度の感染症対策につきましては、必要最低限の以下の方針で行います。変更等がある場合には、別途お知らせします。

後期講座における感染症対策の基本方針

- ① 後期講座開催中は、全員のマスク着用を徹底します。
- ② スタッフ・受講生の検温を実施します。
- ③ アルコール消毒薬を設置し、手指等の消毒を徹底します。

受講できないケース（以下に該当する場合、受講はお控えください）

- ① 当日自宅で検温を実施し、37.5度以上の発熱があった場合。
 - ② 発熱をしていない状態でも、息苦しさや倦怠感などの症状や心身の不調を感じる場合。
- ※講座受講料は、原則として当方の責により受講できなかった場合を除き、返還いたしません。

上記ルールを守れない方は、ご受講いただくことができませんので注意してください。

11. 受講のキャンセルについて

受講を事前キャンセル（キャンセル締切：前期5月25日、後期：8月28日）された場合は受講料をお返しいたします。ただし、受講通知発送等事務手数料（2,000円（税込）・資料印刷代を含む）および返金のための振込手数料（実費）をご負担いただきます。

12. 申込み・問合せ先

一般財団法人日本緑化センター緑化事業部（講座担当：小田川）
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-2-29 K,I,Hビルディング 2F
TEL:03-6457-5218（講座）／FAX:03-6457-5219／Email: sougouk@jpgreen.or.jp

令和5年度（2023） 樹木と緑化の総合技術講座スケジュール

<前期>

WEB配信（配信期間中は繰り返し視聴可能です）				
	①-1 (90分)	①-2 (90分)	①-3 (90分)	①-4 (90分)
前期 ①コース	植物の生育環境と その分布 濱野 周泰 (東京農業大学客員教授)	植物の構造と生理生態 福田 健二 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授)	植物（樹木）の特徴と その取扱い特性 金澤 弓子 (東京農業大学 造園科学科 准教授)	樹形の意味 堀 大才
前期 ②コース	「造園植栽」に不可欠な一貫性 ー設計～監理～マネージメントー 山本 紀久 (㈱愛植物設計事務所 会長)	②-2 (90分) 土壌の基礎知識と 植栽基盤としての 望ましいあり方 水庭 千鶴子 (東京農業大学 造園科学科 教授)	②-3 (90分) 植栽工事に係る基本的な考え方 と配植・植え付けのポイント 山下 得男 (株式会社富士植木)	②-4 (90分) 樹木管理に係る基本的な考え方 と育成・維持管理 内田 均 (元東京農業大学 地域創成科学科 教授)
前期 ③コース	③-1 (90分) 芝及び地被植物の基礎知識と 育成・維持管理 高橋 新平 (東京農業大学造園科学科 教授)	③-2 (90分) 草本植栽の基礎知識 ～東京都内の公園に学ぶ～ 奥 峰子 (公社)園芸文化協会常務理事 (有ホリナーホックガーデン代表)	③-3 (90分) 野生の草花と里山の再生 麻生 嘉 (一財)日本緑化センター 主任研究員)	③-4 (90分) 農薬の取り扱い方法 の基礎知識 (独)農林水産消費安全技術センター 農薬検査部農薬有効性審査課 検査管理官)
前期 ④コース	④-1 (90分) 緑化樹木の腐朽病害 阿部 恭久 (元日本大学 生物資源科学部 教授)	④-2 (90分) 樹木の病害の基礎知識 金子 繁 (元)独)森林総合研究所 関西支所長)	④-3 (90分) 樹木の虫害の基礎知識 北島 博 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林研究部門 森林昆虫研究領域 長)	④-4 (90分) 樹木のリスク管理の 現状と課題 細野 哲史 (一社)地域緑化技術普及協会 代表)

※配信期間が変更になる場合があります。ご承知おき下さい。

※講義の流れにより配信時間が変わる場合があります。造園CPDについては申請（変更含む）に1ヶ月以上の期間が必要とされるため、編集後の配信時間と認定時間に差異が生じる場合があります。ご理解ください。

令和5年度樹木と緑化の総合技術講座【前期】講座概要

講義科目・講師名	講義のポイント
植物の生育環境とその分布 濱野 周泰 (東京農業大学 客員教授)	植物の生育に係る環境要因を確認するとともに、植物の自然分布や植栽分布について解説する。
植物の構造と生理生態 福田 健二 (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)	植物を構成する各エレメントの構造を確認するとともに、植物の生長の仕組み等を解説する。
植物(樹木)の特徴とその取扱い特性 金澤 弓子 (東京農業大学造園科学科准教授)	植物としての樹木の特徴と植栽上・管理上の特性について、都市の代表的な樹種を通して解説する。
樹形の意味 堀 大才	緑化木の成育環境が悪化する中で、景観・安全と樹木の健康を両立させる剪定はどうあるべきか、新しい知見に基づく剪定の基本原理は何か、剪定の種類、技法、留意点はどうあるべきかを解説する。
「造園植栽」に不可欠な一貫性 ー設計～監理～マネージメントー 山本 紀久 (㈱愛植物設計事務所 会長)	植物の配植設計に係る基本的事項を解説するとともに、植栽工事における設計監理のポイントを解説する。
土壌の基礎知識と植栽基盤としての望ましいあり方 水庭 千鶴子 (東京農業大学造園科学科 教授)	土壌学の基礎や植物との係わりを確認するとともに、植栽基盤としての望ましいあり方(物理性・化学性)を解説する。
植栽工事に係る基本的考え方と配植・植え付けのポイント 山下 得男 (㈱富士植木 取締役 コミュニティ・緑化推進部長)	植栽工事を実施する際に留意すべきポイントについて、現場の視点で解説する。
樹木管理に係る基本的考え方と育成・維持管理 内田 均 (元東京農業大学地域創成科学科教授)	植物の管理を行っていくための基本的考え方を確認するとともに、育成管理・維持管理に係る留意事項を解説する。
芝及び地被植物の基礎知識と育成・維持管理 高橋新平 (東京農業大学造園科学科教授)	芝草及び地被植物の特性等を確認するとともに、育成管理等に係る留意事項を解説する。
草本植栽の基礎知識～東京都内の公園に学ぶ～ 奥 峰子 (㈹ホリーホックガーデン代表取締役)	草花植物の特性等を確認するとともに、花壇の植栽・管理に係る留意事項を解説する。
野生の草花と里山の再生 麻生 嘉((一財)日本緑化センター)	野生の草花の特性等を確認するとともに、多様性豊かな里山環境を再生するためのポイントを解説する。
農薬の取り扱い方法の基礎知識 (独)農林水産消費安全技術センター 農薬検査部)	樹木を対象とした農薬の安全・的確な取り扱い方、農薬登録情報データベースの役割と利用方法、総合的病虫害管理((IPM: Integrated Pest Management))の基本的な考え方について解説する。
緑化樹木の腐朽病害 阿部恭久 (元日本大学生物資源科学部教授)	樹木の倒木等の大きな原因のひとつである木材腐朽菌による病害について、そのメカニズムや見分け方等を確認するとともに、その対策等について解説する。
樹木の病害の基礎知識 金子繁 (元森林総合研究所関西支所長)	樹木等に害を与える主な病原の特性と生育への影響を確認するとともに、その対策について解説する。
樹木の虫害の基礎知識 北島博 (森林総合研究所森林昆虫研究領長)	樹木等に害を与える主な虫害の特性と生育への影響を確認するとともにその対策について解説する。
樹木のリスク管理の現状と課題 細野哲央 (㈱地域緑花技術普及協会代表)	緑化等の安全管理をとりまく現状の問題点や課題について、実際の事例をもとに解説する。

※本内容は昨年度配信した内容を一部加筆またはリニューアルしています。

令和5年度（2023） 樹木と緑化の総合技術講座スケジュール

<後期>

ホテルマークワントつくば研究学園（1Fリベラホール）、(有)古平園 圃場、筑波実験植物園、研究学園駅前公園

月日	8		9		10		11		12		13		14		15		16		17	
	時刻	15	50	0	30	0	30	0	15	45	0	30	45	0	30	0	30	0	30	15
9月4日 (月)			受付・注意事項説明	9:00~11:00	都市樹木の点検の実際 細野 哲央 (一社)地域緑化技術普及協会 代表 場所：マークワントつくば	休憩	11:15~12:45	植栽基盤の調べ方(座学) ～現状の把握と改善方法～ 川九 邦雄 (有)テラパックス・テクニカ 代表取締役 場所：マークワントつくば	昼食	13:00~16:00	植栽基盤の調べ方と改善方法(実習) ～長谷川式等調査器具の使い方がわかる～ 川九 邦雄 場所：(有)古平園 圃場	全員バス移動	14:00~16:30						質疑応答	全員バス移動
9月5日 (火)			受付・注意事項説明	9:00~10:15	樹木の病害診断と対策・座学 金子 繁 (元)独)森林総合研究所関西支所長 場所：マークワントつくば	休憩	10:30~11:45	樹木の虫害診断と対策・座学 北島 博 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 森林昆虫研究領域長 場所：マークワントつくば	昼食	13:00~16:00	樹木の病害診断と対策・実習 金子 繁 樹木の虫害診断と対策・実習 北島 博 2班に分かれ2回同時開催 場所：筑波実験植物園	全員バス移動	13:00~16:00						合同質疑応答	全員バス移動
9月6日 (水)		全員バス移動	受付・注意事項説明	9:00~12:30	樹木剪定の実際 古平 貞夫 (有)古平園 代表 場所：(有)古平園 圃場		9:00~12:30	樹木移植の実際 山下 得男 (株)富士植木 取締役 コミュニティビジネス推進部長 場所：(有)古平園 圃場	昼食	13:30~17:00										全員バス移動
9月7日 (木)			受付・注意事項説明	9:00~12:30	樹木診断実習(カルテ作成) 堀 大才 場所：つくば市 研究学園駅前公園・マークワントつくば		9:00~12:30	樹木診断実習(発表) 堀 大才 場所：マークワントつくば	昼食	13:30~15:30	休憩	15:50~17:00	樹勢総合診断 実施事例の解説 堀 大才 場所：マークワントつくば							

※講師及び場所については当日一部変更することもあります。ご承知お下さい。

令和5年度樹木と緑化の総合技術講座【後期】講座概要

講義科目・講師名	講義のポイント
都市樹木の点検の実際 細野哲央 ((一社)地域緑花技術普及協会代表)	樹木等の安全管理をとりまく現状の問題点や改善策について、具体的に解説する。
(座学) 植栽基盤の調べ方～現状の把握と改善方法～ (実習) 植栽基盤の調べ方と改善方法～長谷川式等調査器具の使い方がわかる～ 川九邦雄 (有)テラパックス・テクニカ代表取締役)	緑化植物の生育を大きく左右する植栽基盤(土壌)整備の設計・施工・管理について、具体的なデータと実例をもとに、各事業段階で必要な調査のポイント、進め方について解説し、その原理からすぐに役立つ実用上の要点を震災復興の特殊条件等も踏まえてわかりやすく解説する。 午後の部では、野外において各事業段階でポイントとなる調査内容を解説しながら、調査手順が明らかになるように実演し、そこで得られた調査データの解析を行う。
樹木の病害診断と対策 金子繁 (元森林総合研究所関西支所長)	実習を通じて、緑化木に発生する病害の病原とその生態、及びその対策などを解説する。
樹木の虫害診断と対策 北島博 (森林総合研究所森林昆虫研究領長)	緑化木に発生する虫害の診断のポイント、その対策は何か。木の葉や幹、土の中などに産み付けられた虫の卵、幼虫や蛹、食害痕などを直接観察し、その特徴を解説する。
樹木剪定の実際 古平 貞夫 (有)古平園代表)	高木剪定について、基本剪定(冬期剪定、基本樹形の骨格枝を作る)と軽剪定(夏期剪定、樹幹の乱れや混み過ぎを直す)の要領、常緑樹や落葉樹の特性を活かした剪定の要領を実演し、剪定の留意点を解説する。
樹木移植の実際 山下 得男 (株)富士植木取締役 コミュニティビレッジ 初推進部長)	高木移植の根回しと掘取について、根回しは鉢径の決め方・断根法の要領・林試移植法(環状剥皮、バーク堆肥の施用など)の要領を、掘取については掘り下げ・整根・枝抜きなどの要領を実演し、移植の留意点を解説する。 また、昨年実施した林試移植法(断根法)による根回し一年後の発根状況を確認する。 (※現場の状況に応じて内容が変更となります。)
樹木診断実習 堀 大才	樹木の健康度・衰退度・危険度の決め手となる診断項目毎の判定要領、カルテの作成方法、総合判定の考え方と手順について実習を通して解説する。対象木を決め、受講者が樹木診断様式をもとに判定し、その結果をもとに討議する。

※講師及び内容について一部変更することがあります。ご承知おき下さい。

令和5年度 樹木と緑化の総合技術講座 **受講申込書** (申込期限：前期 7/7・後期 8/21迄)

【前期講座 (WEB) 留意事項】 ▼必ずお読みください。

- ① 前期講座はWEB配信方式の講習会です。WEB上で動画を視聴できる方のみを対象としています。
- ② 配信期間はR05/6/1(木)～7/17(月)です。配信期間中は都合の良い時間帯で繰り返し視聴可能です。
- ③ 配信URLは、5/26以降(ご入金確認後)にメール送信します(併せてテキスト送付時にも同封します)。
- ④ 配信URL送信後のキャンセルはできません。受講料の領収書はテキスト送付時に同封します。
- ⑤ 社内で複数の方の申し込みが可能です。一人一枚で全員分同時にお申し込みいただくと割引対象となります。

【後期講座 (対面式) 留意事項】 ▼必ずお読みください。

- ① 新型コロナウイルス感染状況に応じて「中止」となる可能性があります。やむを得ず「中止」となった場合は後期分を全額返金させていただきます。
- ② 各日の昼食代金は受講料に含まれます。ただし、昼食を希望しない場合の返金はいたしません。

【申込者】 ▼太枠内すべてご記入ください。細枠内は対象者のみご記入ください。(令和5年 月 日)

ふりがな		前期コース (1コースにつき11,000円)	コース①	コース②	コース③	コース④
氏名						
賛助会員	法人名()	後期コース (1日につき16,000円 昼食付)	9/4	9/5	9/6	9/7
樹木医 登録番号						
自然再生士 登録番号		造園CPD 会員No. (12桁)				

受講料の振込票
貼付欄

★この太枠内に振込票の控えを貼付してください。

・**受講料は前払い**です。以下の計算式によりお支払いください。※割引の併用はできません。

○参加日数が計8日以上で1割引です。○賛助会員は参加日数に関係なく合計から2割引です。

前期11,000円×()コース+後期16,000円×()日=合計()円

- ・振込票の控えをこちらに貼付するか、下記の表に必要な事項をご記入ください。
- ・支払いに請求書が必要な場合は「総合講座事務局(小田川)」までご連絡ください。

＜振込先＞

銀行		郵便局	
振込銀行名	三菱UFJ銀行 本店(001)	口座記号	00190-6-588447
預金の種別	普通預金	口座番号	
口座名	受取人名カナ	加入者名	(一財)日本緑化センター
	受取人名	通信欄	樹木と緑化の総合技術講座 受講料
口座番号	1705435		

★ネットバンキングをご利用の方・振込票を紛失された方は、下表にご記入ください。

振込名義									
振込日	令和			年			月		日
振込先	(三菱UFJ銀行・郵便振替) ←振り込んだ方を○								
振込金額									

【テキスト送付先】 ▼受講テキスト・配信URLの送付先となります(必要事項をすべてご記入ください)。

担当者名	() ←申込者と異なる場合にご記入ください。		
住所	(□自宅・□勤務先)	勤務先名称:()	
	〒	()部・課まで	
TEL		FAX	
E-mail	(受講URL送信のため必須)		

【申込提出先・問い合わせ先】 ▼メール、FAXのほか、郵送も可とします。

(一財)日本緑化センター総合講座事務局(小田川) 〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-2-29 K,I,Hビルディング 2F
E-mail ; sougouk@jpgreen.or.jp、FAX ; 03-6457-5219 (到着確認の連絡はご遠慮ください)